

2025 年度
新潟青陵大学大学院臨床心理学研究科
入学試験（一次募集）問題
『一般選抜』

「小論文」

試験の受け方について

- 1 試験開始の合図があるまでは、この冊子を開いてはいけません。
- 2 この冊子は1～4 ページまでとなっています。
- 3 解答はすべてこの冊子の解答欄に記入してください。
- 4 試験時間は 60 分です。
- 5 印刷が不明瞭な場合のほかは、問題について質問は受けません。
- 6 不正な行為があった場合は、解答はすべて無効となります。
- 7 試験終了時にこの冊子および下書き用紙を提出してください。
- 8 すべての受験番号欄に受験番号を記入してください。

受験番号	合計得点

「小論文」

「話を聴くことなど誰にでもできるはずなのに、それにお金を取る必要はあるのか？」という心理療法への批判的意見について、あなたの考えを論じなさい。

(1000～1200字)

A blank grid paper with a 20x30 grid. The grid is divided into four 10x5 quadrants by a vertical line in the center and a horizontal line. The horizontal line is labeled '100' on the right side. The vertical line is labeled '200' on the right side. The bottom right corner is labeled '300'.

2025 年度
新潟青陵大学大学院臨床心理学研究科
入学試験（一次募集）問題
『一般選抜』

「英語」

試験の受け方について

- 1 試験開始の合図があるまでは、この冊子を開いてはいけません。
- 2 電子辞書以外の語学辞書（英和一冊）の使用を許可します。
- 3 この冊子は 1～4 ページまでとなっています。
- 4 解答はすべてこの冊子の解答欄に記入してください。
- 5 試験時間は 90 分です。
- 6 印刷が不明瞭な場合のほかは、問題について質問は受けません。
- 7 不正な行為があった場合は、解答はすべて無効となります。
- 8 試験終了時にこの冊子および下書き用紙を提出してください。
- 9 すべての受験番号欄に受験番号を記入してください。

受験番号

問題 1 以下の英文を読み、設問 1 ～ 4 に答えなさい。

In attributional retraining programs, the goal is to alter the individual's perception of why failure occurred. One likely attribution for failure is, of course, a lack of ability. An ability attribution for failure, however, has the disadvantage of interfering with future performances, because ability attributions are both (ア) and uncontrollable. Ability attributions leave the person asking, "Why try?" Fortunately, there are other valid attributions that explain failure. Lack of effort and lack of an effecting strategy are attributions that are both unstable and under volitional control. Once failure is seen as unstable and under one's voluntary control, then failure is no longer an insurmountable, uncontrollable obstacle. (イ) To support this line of reasoning, both Dweck (1975) and Anderson and Jennings (1980) found that performance and persistence are enhanced in the face of apparent failure when the individual attributes failure to poor effort or poor strategy, rather than to a lack of ability.

Attributional retaining can be applied to many life areas. As reviewed above, the roots of many emotional (e.g., depression) and behavioral (e.g., quitting work) problems can be traced, in part, to a pessimistic attributional style that exacerbates (ウ) these difficulties. Though still somewhat skeptical, clinical psychology sees attributional retraining as a possible therapeutic intervention in emotional and behavioral problems. Some of the areas of application of attributional retraining are aggression, academic performance in the first year of college, phobias, sexual arousal.

Wilson and Linville (1982) applied attributional retraining to first-year college students whose fall semester's work was worse than expected. When the students were asked why they performed so poorly, a great majority of students attributed their perceived failure to lack of ability, a stable attribution. Wilson and Linville reasoned that if the students attributed their failure to a stable cause, then the many students might drop out of college (because a stable cause of failure could be expected to persist throughout their college careers). Wilson and Linville introduced an attributional retraining session for half of these freshmen by informing the students that most students attain higher grades as they progress through college. The students in attributional retraining session watched testimonial videotapes of juniors and seniors who confirmed a steady year-by-year rise in their academic performance. Half of students in the Wilson and Linville (1982) study participated in a control group that received no such attributional retraining. The control students showed no increase in their grade point average over the next year and had a 25% drop-out-rate. The attributional retraining students, on the other hand, showed a significant increase in their grade point average over the next year and had only a 5% drop-out-rate. (エ) Overall, the effort to change the students' attributions for academic failure from a stable to an unstable cause resulted in positive, significant improvements in performance (GPA)

and persistence (drop-out rate).

(出典 : Reeve, J. (1992) "Understanding motivation and emotion" Holt, Rinehart and Winston, Inc.)

設問 1 (ア)の空欄に入る語句のうち、もっとも適切な語句を以下の①～④の中から 1 つ選び、記号で答えなさい。

- ① valid ② unstable ③ voluntary ④ stable

(ア) _____

設問 2 下線部(イ)を日本語に訳しなさい。

設問 3 下線部(ウ)が具体的に何を指しているのか、日本語で説明しなさい。

設問 4 下線部(エ)を日本語に訳しなさい。

*GPA は訳す必要はありませんので、そのまま記載してください。

受験番号	問題 1 得点

受験番号

問題2 以下の英文を読み、設問 1～6 に答えなさい。

Non-directive play therapy, as we have said before, may be described as an opportunity that is offered to the child to experience growth under the most favorable conditions. Since play is his natural medium for (ア) the child is given the opportunity to play out his accumulated feelings of tension, frustration, insecurity, aggression, fear, bewilderment, confusion.

By playing out these feelings he brings them to the surface, gets them out in the open, faces them, learns to control them, or abandons them. (イ) When he has achieved emotional relaxation, he begins to realize the power within himself to be an individual in his own right, to think for himself, to make his own decisions, to become psychologically more mature, and, by so doing, to realize selfhood.

The play-therapy room is good growing ground. In the security of this room where the child is the most important person, (ウ) he is in command of the situation and of himself, where no one tells him what to do, no one criticizes what he does, no one nags, or suggest, or goads him on, or pries into his private world, he suddenly feels that here he can unfold his wings; he can look squarely at himself, for he is accepted completely; he can test out his ideas; he can express himself fully; (エ) this is his world, and he no longer has to compete with such other forces as adult authority or rival contemporaries or situations where he is a human pawn in a game (オ) bickering parents, or where he is the butt of someone else's frustrations and aggressions. He is an individual in his own right. He is treated with dignity and respect. He can say anything that he feels like saying –and he is accepted completely. He can play with the toys in any way that he likes to–and he is accepted completely. He can hate and he can love and he can be as indifferent as the Great Stone Face–and he is still accepted completely. He can be as fast as a whirlwind or as slow as molasses in January–and he is neither restrained nor hurried.

(カ) It is unique experience for a child suddenly to find adult suggestions, mandates, rebukes, restraints, criticisms, disapprovals, support, intrusions gone. They are all replaced by complete acceptance and permissiveness to be himself.

(出典：Virginia M. Axline (1969) “*Play Therapy*” Ballantine Books)

設問 1 空欄(ア)に当てはまる最も適切な語句を以下の中から 1 つ選び、①～④の記号で答えなさい。

- ① selfish ② self-management ③ self-expression ④ mindfulness

(ア) _____

設問 2 下線部(イ)を日本語に訳しなさい。

設問 3 (ウ)に当てはまる最も適切な語句を以下の中から選び①～④の数字で答えなさい。

- ① when ② how ③ where ④ but

(ウ) _____

設問 4 (エ)に当てはまる最も適切な語句を以下の中から選び①～④の数字で答えなさい。

- ① for ② however ③ though ④ when

(エ) _____

設問 5 (オ)に当てはまる最も適切な語句を以下の中から選び①～④の数字で答えなさい。

- ① without ② that ③ between ④ against

(オ) _____

設問 6 下線部(カ)を日本語に訳しなさい。

受験番号	問題 2 得点

2025 年度
新潟青陵大学大学院臨床心理学研究科
入学試験（一次募集）問題
『一般選抜』

「臨床心理学」

試験の受け方について

1. 試験開始の合図があるまでは、この冊子を開いてはいけません。
2. この冊子は1～9 ページまでとなっています。
3. 解答はすべて別紙「解答用紙」に記入してください。この冊子に記入されたものは、採点の対象にはなりません。
4. 試験時間は 90 分です。
5. 印刷が不明瞭な場合のほかは、問題について質問は受けません。
6. 不正な行為があった場合は、解答はすべて無効となります。
7. 試験終了時に問題冊子・解答用紙・下書き用紙を提出してください。
8. すべての受験番号欄に受験番号を記入してください。

問題1 以下の（ ）に最も適切な語句または数字を解答欄に記入しなさい。

1. Ainsworth, M. D. は、乳児の愛着の質を調べるための実験方法として（ ）法を開発した。
2. 視野の中に多数の刺激が与えられたとき、それらがバラバラに知覚されるのではなく、まとまりをもった1つのかたまりとして知覚されることを（ ）要因と呼ぶ。
3. 大脳辺縁系において、快・不快、怒りや恐怖、喜びなどの本能的な感情と、それに伴う身体反応に関与するのは、（ ）である。
4. Klein, M. は、投影性同一視や分裂のように、早期の乳幼児や精神病的な不安を抱える人が用いる機制のことを（ ）機制と呼んだ。
5. ミュラー・リヤー錯視や、エビングハウス錯視のように、平面図形の長さや大きさ、角度、方向、湾曲などの性質が、視覚の客観的な性質や関係と異なって知覚されるような現象のことを（ ）錯視と呼ぶ。
6. Mayer, J. D. や Salovey, P. を中心として提唱された、感情のコントロールや人間関係調整といった、個人の社会情緒的な能力及び特性のことを（ ）と呼ぶ。
7. 持続的に刺激が呈示されることにより、感覚受容器の刺激閾が上昇して、感覚が弱まることを（ ）と呼ぶ。
8. Asch, S. E. は、他者から得られた断片的な情報に基づいて、その人の全体的な印象が形成される過程のことを（ ）と呼んだ。
9. Bowlby, J. M. は、子どもは養育者との愛着関係や養育経験に基づいて、自分自身や他者についての一般的なイメージや確信を形成させると主張し、このことを（ ）と呼んだ。
10. 本来効果のない薬を処方しても、一定程度の改善が現れることを（ ）と呼ぶ。
11. 家族構成やその関係性を視覚的に図示したものを（ ）と呼ぶ。
12. 高次脳機能障害のひとつであり、感覚器に障害がないにもかかわらず、ある感覚を通して対象を認識することができないことを（ ）と呼ぶ。
13. 何らかの仮説や考えを証明しようとする際、さまざまな情報の中からその仮説に合致するような情報を選択的に重視したり、獲得したりする傾向のことを（ ）と呼ぶ。

14. Schultz, J. H. によって考案された、精神や身体へ注意集中や自己暗示の練習によって心身をリラックスさせるセルフコントロール技術のことを（ ）と呼ぶ。
15. 知能検査において、個人内における指標得点間や下位検査間に見られる大きな差のことを（ ）と呼ぶ。
16. Jung, C. G. は、人間の発達を太陽の運行になぞらえて、40歳頃を（ ）と呼んだ。
17. Atkinson, R. と Shiffrin, R. が提唱した記憶の保持について、短期記憶と長期記憶による情報の貯蔵システムを想定する記憶モデルのことを（ ）と呼ぶ。
18. Zung, W. W. K. によって作成された20項目で構成される抑うつ症状を自己評定する質問紙のことを（ ）と呼ぶ。
19. ある事物について視覚的なイメージを形成し、それを脳内で回転変換する認知的機能のことを（ ）と呼ぶ。
20. 個人や組織が他者の態度や行動を、自らが望むように変化させうる潜在能力のことを（ ）と呼ぶ。

問題 2 研究法・統計に関する以下の設問 1～2 に解答しなさい。

設問 1 以下の（ ）の中に入る最も適当な語句を解答欄に記入しなさい

- (1) 一般にサンプルサイズが大きいほど、結果の（ ）性が高まる。
- (2) 有意水準は、（ ）種過誤 の確率を示す。
- (3) 比例尺度は、絶対的な（ ）を持つ尺度である。
- (4) ノンパラメトリック検定は、特定の（ ）に依存しない検定である。
- (5) 二群間の比較において、同じ被験者からの繰り返し測定データを使用した場合には、（ ）のある t 検定が用いられる。

設問 2 相関は因果関係を必ずしも示さない理由を、具体例を用いて説明しなさい。

問題 3

設問 1 以下の文章中の空欄 A.～B.について、当てはまる語句を解答欄に記入しなさい。

【A. 】法は、発達障害者の心理機能の適正な発達及び円滑な社会生活の促進のために発達障害の症状の発現後できるだけ早期に発達支援を行うことを通じて、共生社会を実現することを目的としている。この法律において発達障害とは、自閉症、【B. 】その他広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害その他これに類する脳機能の障害であってその症状が通常低年齢において発現するものとして政令で定めるものをいう。

設問 2 以下の文章中の空欄 C.～D.について、当てはまる語句を解答欄に記入しなさい。

チック症状は運動チックと【C. 】に大別され、またそれぞれに単純性チックと複雑性チックがある。チック症は軽症から重症までのスペクトラム状の様相を呈している。DSM-5 では、運動チックと【C.】の両方がある時期に存在しており、最初のチック症状から 1 年以上持続する重症例を【D. 】と呼ぶ。

設問 3 以下の文章中の空欄 E.～J.について、当てはまる記号を語群 a.～r.の中から選択し解答欄に記入しなさい。

医療観察制度とは【E. 】または心神耗弱の状態で【F. 】を行い、不起訴処分となるか無罪が確定した者に対する処遇に関する制度である。適切な医療を提供し、社会復帰を促進することを目的としており、医療観察法による医療及び観察を受けさせる必要性について【G. 】が【H. 】に申し立てを行う。【G.】からの申し立てがなされると、鑑定を行う医療機関での入院等が行われるとともに、裁判官と【I. 】の各 1 名からなる合議体による審判で処遇の要否と内容の決定が行われる。
処遇においては指定入院医療機関において専門的な医療の提供が行われるとともに、法務省管轄の【J. 】に配置されている社会復帰調整官により生活環境の調整が実施される。

〔語群〕

- | | | | |
|----------|-----------|------------|----------|
| a. 検察官 | b. 警察官 | c. 精神保健審判員 | d. 心神喪失 |
| e. 地方裁判所 | f. 都道府県知事 | g. 保護観察所 | h. 最高裁判所 |
| i. 家庭裁判所 | j. 公認心理師 | k. 重大な他害行為 | l. 法務大臣 |
| m. 拘置所 | n. 弁護士 | o. 酩酊 | p. 軽犯罪 |
| q. 激しい動揺 | r. 自傷行為 | | |

問題 4 以下の設問 1～3 に答えなさい。

設問 1 以下の心理療法の手続きと技法の特徴について簡潔に説明しなさい。

- (1) スクイグル法
- (2) 森田療法
- (3) 系統的脱感作法

設問 2 Rogers, C.R. (1957) が「治療的パーソナリティ変化のための必要条件」として示した 6 条件についての記述の中で、〔 a 〕、〔 b 〕に当てはまる用語を語群から選び、それぞれの用語の意味を説明しなさい。

- (1) 二人の人が心理的な接触をもっていること。
- (2) 第一の人（クライアントと呼ぶことにする）は、不一致の状態にあり、傷つきやすく、不安な状態にあること。
- (3) 第二の人（セラピストと呼ぶことにする）は、その関係のなかで一致しており、統合していること。
- (4) セラピストは、クライアントに対して〔 a 〕を体験していること。
- (5) セラピストは、クライアントの内的照合枠に対する〔 b 〕を体験しており、この体験をクライアントに伝えようと努めていること。
- (6) セラピストの経験している〔 b 〕と〔 a 〕が、最低限クライアントに伝わっていること。

〔語群〕

- | | | |
|---------------|-----------|--------------|
| (ア) 情動調律 | (エ) 母子一体性 | (キ) 共感的理解 |
| (イ) 愛着体験 | (オ) 現実原則 | (ク) メンタライジング |
| (ウ) 無条件の積極的関心 | (カ) 自我同一性 | (ケ) マインドフルネス |

問題 5 以下の設問 1～5 に答えなさい。

設問 1 以下の 2 つの用語は統合失調症を解明しようとして考案されたものである。それぞれの用語にもっとも深く関連する人物を、〔語群〕の中から 1 つ選び、記号を書きなさい。

- (1) 現実との生ける接触の喪失
- (2) プレコックス感

〔語群〕

- | | | |
|--------------------|------------------|------------------|
| A) Jaspers, K. | B) Kraepelin, E. | C) Minkowski, E. |
| D) Blankenburg, W. | E) Rümke, H. C. | |

設問 2 DSM-5-TR によるボーダーラインパーソナリティ症の診断基準に含まれるものには○を、含まれないものには×を書きなさい。

- (1) 現実には、または想像の中で、見捨てられることを避けようとするなりふりかまわない努力
- (2) 友人または仲間の誠実さや信頼を不当に疑い、それに心を奪われている
- (3) 変わった考え方と話し方
- (4) 自殺の行動、そぶり、脅し、または自傷行為の繰り返し

設問 3 SSRI（選択的セロトニン再取り込み阻害薬）の作用機序として適切なものを以下のうちから 1 つ選びなさい。

- (1) 主としてシナプス後ニューロンにあるセロトニン受容体に作用し、セロトニンの働きを弱める
- (2) 主としてシナプス後ニューロンにあるセロトニン受容体に作用し、セロトニンの働きを強める
- (3) セロトニンとノルアドレナリンの再取り込みを同程度に阻害し、これらの神経伝達物質の働きを弱める
- (4) セロトニンとノルアドレナリンの再取り込みを同程度に阻害し、これらの神経伝達物質の働きを強める

設問 4 以下の記述は P-F スタディの説明である。説明が正しければ○を、誤っていれば×を書きなさい。

- (1) 自我阻碍場面、超自我阻碍場面、自我歓喜場面、超自我歓喜場面の四種類の場面で構成される。
- (2) GCR は標準集団における一般的な反応傾向の程度を示す。

設問 5 精神科医から以下のような検査依頼があった。被検査者は 20 代前半男性で、社交不安を訴えている。精神科医からの依頼書には「あまり自分を語ろうとしない人であり、彼が自分をどのように捉えているのかがまだよくつかめない。時折話されるエピソードには、妄想的なものも混じっているように思うから、病態水準も知りたい」と書かれている。この場合、テスト・バッテリーとしてもっとも妥当と思われるのは以下のうちどれか。

- (1) 「YG 性格検査」と「MMPI」
- (2) 「風景構成法」と「星と波テスト」
- (3) 「WAIS-IV」と「AQ-J」
- (4) 「ロールシャッハテスト」と「SCT」
- (5) 「TAT」と「言語連想検査」

問題 6

事例問題（内容非公表）

事例問題（内容非公表）

「小論文」

2025 年度
新潟青陵大学大学院臨床心理学研究科
入学試験（一次募集）問題
『社会人特別選抜』

「小論文」

試験の受け方について

- 1 試験開始の合図があるまでは、この冊子を開いてはいけません。
- 2 この冊子は 1～5 ページまでとなっています。
- 3 解答はすべてこの冊子の解答欄に記入してください。
- 4 試験時間は 90 分です。
- 5 印刷が不明瞭な場合のほかは、問題について質問は受けません。
- 6 不正な行為があった場合は、解答はすべて無効となります。
- 7 試験終了時にこの冊子および下書き用紙を提出してください。
- 8 すべての受験番号欄に受験番号を記入してください。

受験番号	合計得点

災害発生時と復興過程における、心理臨床家による効果的な被災者支援について論じなさい。

(1200~1600字)

A blank grid paper with a 20x30 grid. The grid is divided into three horizontal sections by two thick lines. The top section is 10 rows high, the middle section is 10 rows high, and the bottom section is 10 rows high. The grid is labeled with numbers 100, 200, and 300 on the right side, indicating the row number.

2025 年度
新潟青陵大学大学院臨床心理学研究科
入学試験（二次募集）問題
『一般選抜』

「小論文」

「小論文」

心理臨床家になるために何が求められるか、あなたの考えを論じなさい。
(1000字以上～1200字以内)

試験の受け方について

- 1 試験開始の合図があるまでは、この冊子を開いてはいけません。
- 2 この冊子は 1～4 ページまでとなっています。
- 3 解答はすべてこの冊子の解答欄に記入してください。
- 4 試験時間は 60 分です。
- 5 印刷が不明瞭な場合のほかは、問題について質問は受けません。
- 6 不正な行為があった場合は、解答はすべて無効となります。
- 7 試験終了時にこの冊子および下書き用紙を提出してください。
- 8 すべての受験番号欄に受験番号を記入してください。

受験番号	合計得点

2025 年度
新潟青陵大学大学院臨床心理学研究科
入学試験（二次募集）問題
『一般選抜』

「英語」

試験の受け方について

- 1 試験開始の合図があるまでは、この冊子を開いてはいけません。
- 2 電子辞書以外の語学辞書（英和一冊）の使用を許可します。
- 3 この冊子は 1～5 ページまでとなっています。
- 4 解答はすべてこの冊子の解答欄に記入してください。
- 5 試験時間は 90 分です。
- 6 印刷が不明瞭な場合のほかは、問題について質問は受けません。
- 7 不正な行為があった場合は、解答はすべて無効となります。
- 8 試験終了時にこの冊子および下書き用紙を提出してください。
- 9 すべての受験番号欄に受験番号を記入してください。

受験番号

問題 1 以下の英文を読み、設問 1 ～2 に答えなさい。

As technological advances put more and more time between early school life and the young person's final access to specialized work, the stage of adolescence becomes an even more marked and conscious period and it has always been in some cultures in some periods, almost a way of life between childhood and adulthood. Thus in the later school years young people, beset with the physiological revolution of their genital maturation and the uncertainty of the adult roles ahead, seem much concerned with faddish attempts at establishing an adolescent subculture with what looks like a final rather than a transitory or, in fact, initial identity formation. (ア) They are sometimes morbidly, often curiously, preoccupied with what they appear to be in the eyes of others as compared with what they feel they are, and with the question of how to connect the roles and skills cultivated earlier with the ideal prototypes of the day. In their search for a new sense of continuity and sameness, which must now include sexual maturity, some adolescents have to come to grips again with crises of earlier years before they can install lasting idols and ideals as guardians of a final identity. (イ) They need, above all, a moratorium for the integration of identity elements ascribed in the foregoing to the childhood stages: only that now a large unit, vague in its outline and yet immediate in its demands, replace the childhood milieu — "society". A review of these elements is also a list of adolescent problems.

出典 : Demetre, J. D. (ed.) (1995) An Introductory Reader in Developmental Psychology. Greenwood University Press, UK

設問 1 下線部 (ア) を日本語に訳しなさい。

設問 2 下線部 (イ) を日本語に訳しなさい。

受験番号	問題 1 得点

問題2 以下の英文を読み、設問1～6に答えなさい。

Some of the primary purposes of assessment are to (a) describe current (ア), including cognitive abilities, severity of disturbance, and capacity for independent living; (b) confirm, refute, or modify the impressions formed by clinicians through their less structured interactions with patients; (c) identify (イ) needs, highlight issues likely to emerge in treatment, recommend forms of intervention, and offer guidance about likely outcomes; (d) aid in the differential diagnosis of emotional, behavioral, and cognitive disorders; (e) monitor treatment over time to evaluate the success of interventions or to identify new issues that may require attention as original concerns are resolved, (f) (ウ) risk, including minimization of potential legal liabilities and identification of untoward treatment reactions; and (g) provide skilled, empathic assessment feedback as a therapeutic intervention in (エ).

(オ) APA* ethical principles dictate that psychologists provide services that are in the best interests of their patients (American Psychological Association, 1992). Thus, all assessors should be able to furnish a sound rationale for their work and explain the expected benefits of an assessment, as well as the anticipated costs. Although it is valuable to understand the benefits of a test relative to its general costs, it is important to realize how cost-benefit ratios ultimately can be determined only for individual patients when working in a clinical context (Cronbach & Gleser, 1965; Finn, 1982). Tests expected to have more benefits than costs for one patient may have different or even reversed cost-benefit ratios for another. For instance, memory tests may have an excellent cost-benefit ratio for an elderly patient with memory complaints but a decidedly unfavorable ratio for a young adult for whom there is no reason to suspect memory problems. This implies that general bureaucratic rules about appropriate test protocols are highly suspect. A test that is too long or costly for general use may be essential for clarifying the clinical picture with particular patients. In addition, certain assessment practices that may have been common in some settings can now be seen as questionable, including (a) mandated testing of patients on a fixed schedule regardless of whether the repeat assessment is clinically indicated, (b) administrative guidelines specifying that all patients or no patients are to receive psychological evaluations, and (c) habitual testing of all patients using large fixed batteries (Griffith, 1997; Meier, 1994).

Finally, although specific rules cannot be developed, provisional guidelines for when assessments are likely to have the greatest utility in general clinical practice can be offered (Finn & Tosager, 1997; Haynes, Leisen, & Blaine, 1997). In *pretreatment*

evaluation, when the goal is to describe current functioning, confirm or refute clinical impressions, identify treatment needs, suggest appropriate interventions, or aid in differential diagnosis, assessment is likely to yield the greatest overall utility when (a) the treating clinician or patient has salient questions, (b) there are a variety of treatment approaches from which to choose and a body of knowledge linking treatment methods to patient characteristics, (c) the patient has had little success in prior treatment, or (d) the patient has complex problems and treatment goals must be prioritized. (カ) The therapeutic impact of assessment on patients and their interpersonal systems (i.e., family, teachers, and involved health service providers) is likely to be greatest when (a) initial treatment efforts have failed, (b) patients are curious about themselves and motivated to participate, (c) collaborative procedures are used to engage the patient, (d) family and allied health service providers are invited to furnish input, and (e) patients and relevant others are given detailed feedback about results.

*注釈：APAはAmerican Psychological Associationの略称である。

出典：Meyer G. J., Finn S. E., Eyde L. D., Kay, G. G., Moreland K. L., Dies R. R., Eisman E. J., Kubiszyn T. W., and Reed G. M. (2001) Psychological Testing and Psychological Assessment — A Review of Evidence and Issues. *American Psychologist*, 56(2), 128-165.

設問1 (ア)に当てはまる最も適切な語句を以下の中からそれぞれ選び①～④の数字で答えなさい。

- ① behavior ② attitude ③ thoughtfulness ④ functioning

設問1. _____

設問2 (イ)に当てはまる最も適切な語句を以下の中からそれぞれ選び①～④の数字で答えなさい。

- ① therapeutic ② safe ③ difficult ④ complex

設問2. _____

設問3 (ウ)に当てはまる最も適切な語句を以下の中からそれぞれ選び①～④の数字で
答えなさい。

- ① take ② manage ③ get ④ fight

設問3. _____

設問4 (エ)に当てはまる最も適切な語句を以下の中からそれぞれ選び①～④の数字で
答えなさい。

- ① itself ② himself ③ assessment ④ test

設問4. _____

設問5 下線部(オ)を日本語に訳しなさい。

設問6 下線部(カ)を日本語に訳しなさい。

受験番号	問題2 得点

2025 年度
新潟青陵大学大学院臨床心理学研究科
入学試験（二次募集）問題
『一般選抜』

「臨床心理学」

試験の受け方について

1. 試験開始の合図があるまでは、この冊子を開いてはいけません。
2. この冊子は1～5 ページまでとなっています。
3. 解答はすべて別紙「解答用紙」に記入してください。この冊子に記入されたものは、採点の対象にはなりません。
4. 試験時間は 90 分です。
5. 印刷が不明瞭な場合のほかは、問題について質問は受けません。
6. 不正な行為があった場合は、解答はすべて無効となります。
7. 試験終了時に問題冊子・解答用紙・下書き用紙を提出してください。
8. すべての受験番号欄に受験番号を記入してください。

問題 1 以下の用語について説明しなさい。

1. PTSD
2. スティグマ
3. 失語
4. 観察学習
5. Evidence based approach

問題 2 統計法・研究法に関する以下の設問 1～2 に答えなさい。

設問 1 信頼性と妥当性の違いについて説明しなさい。

設問 2 心理学研究における統計的仮説検定の必要性について説明しなさい。

問題 3 以下の設問 1～3 に答えなさい。

設問 1 家族療法・短期療法（ブリーフセラピー）におけるリフレーミング（reframing）について説明しなさい。

設問 2 レジリエンス（resilience）について説明しなさい。

設問 3 スクールカウンセラーの役割について、児童生徒を対象としたもの・保護者を対象としたもの・教職員を対象としたものに分類してそれぞれ説明しなさい。

問題 4 以下の設問 1～2 に答えなさい。

設問 1 次にあげる臨床心理学用語について、関連の深い人名を下の a.～n.から選んだ上で用語の意味するところを説明しなさい。

- 1) アタッチメント
- 2) エクスポージャラー
- 3) フォーカシング
- 4) マインドフルネス
- 5) ダブル・バインド
- 6) エディプス・コンプレックス
- 7) オルタナティブ・ストーリー
- 8) アーキタイプ

- | | | | |
|------------------|------------------|-------------------|--------------------|
| a. Freud, S. | b. White, M. | c. Bowlby, J. | d. Schultz, J.H. |
| e. Wolpe, J. | f. Kalff, D. | g. McGoldrick, M. | h. Winnicott, D.W. |
| i. Jung, C.G. | j. Gendlin, E.T. | k. Klein, M. | l. Kabat-Zinn, J. |
| m. Rogers, C. R. | n. Bateson, G. | | |

設問 2 心理療法の初回面接において心理専門職が行う業務について、以下に挙げる用語をすべて用いて説明しなさい。

【用語】生育歴 主訴 見立て 問題歴 契約 インフォームドコンセント

問題 5 以下の設問 1～2 に答えなさい。

設問 1 以下にあげられた心理検査のうち、投射法検査に分類されるものには○を、それ以外には×をつけなさい。

1. MMPI
2. WAIS-IV
3. TAT
4. ソンディ・テスト
5. 内田クレベリン検査
6. HDS-R
7. GHQ
8. HTPP
9. ロールシャッハ・テスト
10. TEG

設問 2 心理検査を行う際に注意すべき倫理的側面について説明しなさい。

2025 年度
新潟青陵大学大学院臨床心理学研究科
入学試験（二次募集）問題
『社会人特別選抜』

「小論文」

試験の受け方について

- 1 試験開始の合図があるまでは、この冊子を開いてはいけません。
- 2 この冊子は1～5 ページまでとなっています。
- 3 解答はすべてこの冊子の解答欄に記入してください。
- 4 試験時間は 90 分です。
- 5 印刷が不明瞭な場合のほかは、問題について質問は受けません。
- 6 不正な行為があった場合は、解答はすべて無効となります。
- 7 試験終了時にこの冊子および下書き用紙を提出してください。
- 8 すべての受験番号欄に受験番号を記入してください。

受験番号	合計得点

「小論文」

多職種連携における心理職としての独自性とは何か論じなさい。

(1200字以上～1600字以内)

A blank grid for graphing. The grid is 20 units wide and 30 units high. On the right side, there is a vertical axis with labels 100, 200, and 300. The grid lines are thin and black. The background is white.